

ゆうゆうだより

発行日
平成一七年
十一月三十日
第四三号

《第六回ゆうゆう祭を終えて》

福岡高校吹奏楽部の皆さんを迎えて、雨を吹き飛ばすような元気な演奏でゆうゆう祭は幕開けしました。会場を魅了し、心が和んだ感動のステージとなりました。また、短い準備期間の中で試行錯誤しながら多くの職員がかかし作りや舞台発表に取り組みました。本当にご協力ありがとうございました。そして、利用者の皆さんや、ご家族の方の笑顔がたくさん見られたことをたいへんうれしく思います。

ゆうゆう祭実行委員長

介護福祉士 松本 英子



家族との団樂のひととき



和服姿でお寿司を販売しました(上)



雨の中ボランティアの方々
に手伝っていただきました(上)



福岡高校吹奏楽部の迫
力ある演奏(右)



かかしコンテストには大勢の皆さん
に投票してもらいました



ほら、こんなにとれたよ



芋ほりはおらにまかせとけ!

《芋掘り》
 秋晴れの十月十二日、芋掘りを行いました。苗を植えた春頃、なかなか根がつかず、いくつかの苗が枯れてしまい利用者の皆様は我が子の様に心配しておられました。しかし、夏頃には力強くつるを伸ばし、秋頃には少々小ぶりで数は少なかったものの実をつけ、無事に収穫することができました。
 泥んこになりながら芋を掘っていた方、昔を懐かしむように芋掘りの様子を見ていた方、どの利用者様の顔にも笑顔が浮かんでいるのを見てうれしく思いました。
 介護福祉士 高畑 真梨



砺波花総合公園 いろんな植物がありました



夢の平スキー場にコスモスを見に行ってきました

《バスハイキング》
 今回は夢の平のコスモス畑へ行ったり、砺波花センターの秋の庭園や温室へ行ったりと花を満喫して頂きました。
 ゆうゆう号がでかけた日はちょうどコスモスの花が満開で「きれいやね。美しいわ」とため息がでるほど。
 それに写真で見てもわかるとおり素晴らしい秋晴れで、皆さんもリフレッシュできたみたい。にこにこ笑顔で「けっこうや〜。いいもん見た。」と何度も言ってくれました。
 こんなに喜んでもらえる計画した私も嬉しいもの。次のバスハイクもぜひご参加くださいね。
 介護福祉士 中川 瞳

OTだより

寒さが厳しい季節となりました。風邪をひかないよう充分注意していきましょう。

さて、十月二十二日に行われたゆうゆう祭では多くのご家族の方々がご来場くださり、また地域の方々の協力もあり、大変賑わっていました。作業療法コーナーでは、利用者の方々が作られた作品を売り出しました。皆様にたくさんの作品を購入していただき、大変うれしく思います。座布団の座り心地、モップや鍋敷きの使い勝手はどうか？購入された方には、今後の参考としても是非感想を聞かせていただければ…と思います。

今回このコーナーでは、作品を一生懸命作っておられる皆さんの姿をみていただきたいと思います。

作業療法士 竹田 佳菜恵



《給食委員会》

給食委員会では毎月利用者の皆様と一緒に作るおやつ作り(食レクリエーション)を行っています。自分たちのおやつを自分たちで作ることに喜びや楽しみが持て、おいしく召し上がっていただくことを目標としています。

十月には施設で収穫したサツマイモを使用して芋きんとんを作りました。作業は簡単でしたが皆さんの表情は明るく、いきいきとされていました。「楽しかったよ!」と声をかけて下さり、今後も続けて行っています。

給食委員長

介護福祉士 畠山 律子

《看護ひとくちメモ》

これから更に寒い季節になり、暖房をよく使用されると思います。寒いからといって換気を疎かにしがちではないでしょうか。換気せず暖房をつけていては部屋は乾燥します。外出すると菌をもらいやすい体になります。お部屋の湿度は適度に保つようにしてください。そして、体にも水分を補給してください。外出した後の手洗いとうがいは基本です。自分で健康管理に気をつけましょう。

看護主任 辻 雅代



まあ、なんておいしそうなのかしら!

《行事予定》

十二月二十一日 クリスマス会
一月 十一日 新春餅つき



《編集後記》

今年は残暑も厳しく、十一月上旬まで暖かく過ごすことができました。ゆうゆう祭はあいにくの雨でしたが、皆さんのパワーで無事に終えることができました。これから寒くなるにつれてインフルエンザの流行が予想されます。日頃の健康管理を怠らず、風邪にかからぬよう気をつけましょう。

介護職員 沢田 ふみ子



わたしたちが作ったのよ

よーくつぶさんなんまるやかな口当たりにはならんよ!